

テーマ別パスファインダー



分野別レポート入門

文化・社会編



✦ パスファインダーとは？

Pathfinder（パスファインダー）とは、探検者／草分け／開拓者の意。レポート作成や論文作成で、何をすればいいのか、どこへ行けばいいのかわからない！そんな人のための助けになるように作成した、学問の「道しるべ」です。

作成日：2020年1月14日
大阪大学 外国学図書館 | 箕面キャンパス |
ラーニングcommons るくす | LSチーム

I. 文化・社会系レポートの特徴、レポート課題のパターン

＜ レポート課題のパターン

レポート課題のパターンとしては次のようなものがあります。

- (ア) 文化・社会事象を対照して論じるもの
- (イ) 歴史的経緯について論じるもの
- (ウ) テーマに対する自身の考えを述べるもの

＜ 文化・社会系レポートのテーマ

文化・社会系レポートには、次のようなテーマ例があります。

- ① 宗教 「タイ王国の国家儀礼における宗教と信仰」
- ② 社会問題 「日本における外国人労働者の実態と問題点」
- ③ メディア 「映画〇〇をいかに読み解くか」
- ④ 文化 「日本と韓国の食文化比較」

II. 実際に書く前に

＜ 論じたいテーマを明確にしよう！

「〇〇について述べなさい」という自由でアバウトなテーマのレポートが出されたら・・・？

そのまま「〇〇について」というタイトルで書くと、面白くもない上に自分が何を書きたいのか明確にならない！

Q. 大きなテーマをどうすればよいか？

A. もう一步踏み込んで、具体的なテーマにしてみましょう！

例：テーマ「食文化とタイ社会について」

→ 「タイにおける稲作文化と人々の暮らしの変遷について」

→ 「タイ社会における日本食の受容と広まりについて」

→ 「地方別にみるタイ料理の歴史比較」

＜ 問題（問い・リサーチクエション）を設定しよう！

さらにもう一步踏み込んで、「問題」が設定できれば、あとは証拠をあげながらこの問題に答えれば良いので、レポートがグッと書きやすくなります。

Q. どのような問いを立てればよいか？

A. 結論にたどり着かせるための情報が答えとなるような問いを立ててみましょう！

例：テーマ「タイにおける稲作文化と人々の暮らしの変遷について」

問い① タイの稲作文化の特徴は何か。

問い② タイの食生活の特徴は何か。

問い③ 近年、タイの人々の暮らしはどのように変化したか。それはなぜか。

☞ 問題設定のポイント：Wikipedia を読んだだけで分かるような簡単すぎるものや、いくら調べても分から

ないような難しすぎる問題は避けましょう。

＜ 問題解決のヒントを与えてくれる先行研究を探そう！

設定した問題に対し、想像で答えることはできません。また、自分がなんとなく知っていることをもとにしては説得性のあるレポートになりません。

Q. 信憑性のあるレポートにするためには？

A. 辞書・事典や各種書籍、CiNiiなどを駆使してヒントを探し解答を考えましょう。図書館のレファレンス・デスクやラーニング・サポーターも活用してください。

📖自分の書こうとしているレポートに直接的な関係がないように見える先行研究でも、近隣地域での事例や異なる時代の事例を参照することで新たな発見ができることがあります。

＜ そのテーマについて論じる意味・意義を考えよう！

そのテーマについて書くにいたった「きっかけ」は、「〇〇が好きだから」、「〇〇が気になったから」だけでいいのか・・・？きっかけが個人的なものであったとしても、自分のレポートが人々や社会にどのような影響を及ぼすことができるか、少しばかりの意義でもいいので何か見つけ出すことが大事です。そうすれば、レポートを書くモチベーションにもつながるでしょう。

Q. テーマについて論じる意味・意義を見出すためには？

A. 社会的な問題や複数の人々に関わることをテーマに設定してみましょう。

自分の中で問題に対する答えが定まっていない状態で書き始めると、ダラダラと書き連ねる事になってしまいます。書き始める前に、次項の構成を参考にして「問題」→「論拠」→「答え」の枠組みを作っておきましょう。

III. 文化・社会系レポートの構成

＜ 構成の基本

・序論

このレポートは何について書こうとしているかを明らかにする。

1. レポートで取り上げるテーマは？
2. レポートが扱う「問題」は？
3. その問題を取り上げた理由は？その意義は？
4. 調査や研究の方法は？

・本論

結論を導くために調べた内容について、具体的なデータやそれに対する考察をまとめる。

1. 調査・研究の結果は？
2. その結果から考えられることは？（問題点と考察）

✍️字数増やしを狙って余計な情報を入れると、軸がぶれ締まりのないレポートとなるので要注意！

・結論

本論で用意したデータによって導かれたものをもとに、自分の主張を提示する。

1. 本論の調査・結果をまとめると？
2. まとめに基づく自分の見解は？
3. 今後の課題があるとすれば？

✍ レポート執筆前の予想とは異なる結論が導き出されることもある！

・参考文献リスト

レポート作成にあたり参考・引用した文献や資料を記載する。

先生から指示がなければその形式で。詳しくは、るくぱす『参考文献の書き方』を参考にしてください。

IV. 参考文献

渡辺潤、宮入恭平『「文化系」学生のレポート・卒論術』青弓社、2013年。

📖 音楽・映画・ファッション・SNSなど、身近な文化をレポートや卒論で書く上での基本的なルールや文章術、書くための視点や素材、資料やデータの集め方、を丁寧にレクチャーする。

✧ [パスファインダーの凡例]

◀ 図書の情報は以下の順に表記しています。(主に論文の参考文献に使われている書式です。)

著者名 (出版年) 『本の名前』 出版社名, 翻訳者名 (あれば)

◀ 説明の最後に、【 】で貸し出し可能な図書館と配架場所、請求記号を記しました。

総合図 → 総合図書館 (豊中キャンパス)

生命図 → 生命科学図書館 (吹田キャンパス)

理工学図 → 理工学図書館 (吹田キャンパス)

人図 → 人間科学研究科図書室 (吹田キャンパス)

外国図 → 外国学図書館 (箕面キャンパス)

外国図-雑誌 → 直近1~2年に出版されたものは3階雑誌コーナー、バックナンバーは1階書庫

電 → 電子ジャーナル、電子ブック

※雑誌、電子ジャーナルは、すべての巻号が利用できるとは限りません。

◀ 検索を容易にするために、ISBN (各図書固有の識別番号) や ISSN (各雑誌固有の識別番号) を記している場合もあります。

◀ 外国学図書館を中心に紹介していますので、記載している場所以外でも貸し出し可能な場合があります。図書館各階にある検索端末で確認するか、カウンター/LSデスクまでお尋ねください。